

令和7年度入学生 幼児教育学科コース カリキュラムマップ

カリキュラムマップ										
科目コード	科目名	科目の主題	観点							
			尽心		知識・技能		思考・判断		表現	
			① 学 習 意 欲	② 規 律 性	③ 知 識	④ 技 能	⑤ 情 報 活 用 能 力	⑥ 課 題 解 決 力	⑦ 言 語 活 用 能 力	⑧ シ ョ ウ コ ム ニ ケ ー シ ョ ン 力
25Y001	初年次セミナーA	この科目は、学生として、また社会人として求められる知識や能力及び多元的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいとの願いを込めて開講しています。	○		○			○		
25Y002	初年次セミナーB	この科目は、学生として、また社会人として求められる知識や能力及び多元的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいとの願いを込めて開講しています。	○		○			○		
25Y003	データサイエンス基礎	データを動に頼らず、科学的に分析、判断する手法を学ぶ。			○	○	○	○	○	
25Y004	マナー学	社会人としての基本的なマナーを学ぶ	○		○					
25Y005	国語表現法	社会に出て必要となる会話や文章表現の基本を正しく身につける。			○	○		○	○	○
25Y006	情報科学	情報機器操作、情報モラル等に関する基礎的知識、情報機器操作に関する基礎的技能について理解を深め、必要に応じて利用できる。提出課題等をポートフォリオとしてまとめることができる。			○	○		○		
25Y007	ヒトと生物	ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。	○		○					
25Y008	日本国憲法	日本国憲法の基本的事項について理解し、「権利」とは何か、なぜ権利を護らなければならないのか等ということについて、自らの力で考える力を養うことを目指します。	○		○			○	○	○
25Y009	デモクラシーと現代史	現代社会にとって重要なデモクラシーについて、歴史の勉強をしながら理解を深めます。デモクラシーとは、すばらしいものといわれながら、幻滅されることもしばしばです。この悩ましい特質を理解し、社会の未来に向けて展望を開く材料をいくらかでも提供することを目的とします。			○			○		
25Y010	平和学	学校生活や、食べ物／子ども／医療・福祉／観光など本学の学生が学ぼうとしている身近なことを題材にしながら、平和とは何か、平和を脅かすものは何か、平和をどうやって生み出すことができるかを考える。	○		○		○	○	○	
25Y011	体育講義	本講義は、多様な視点から運動を学び、生涯スポーツの意義について考えることをねらいとしている。本講義では、①各ライフステージにおける運動のあり方とその影響が分かる、②効果的な運動の取り組み方が分かる、③健康な生活を考えて実践できる、ことを目標にする。			○			○		○
25Y012	体育実技	本科目は、スポーツの楽しさと大切さを学び、スポーツを取り入れた豊かなライフスタイルについて考えることをねらいとしている。本科目では、①運動の技能の向上、②さまざまなスポーツのルールが分かる、③スポーツを通じたコミュニケーションができる、ことを目標にする。			○	○				○
25Y013	英語 I	中学から高校までの6年分の英文法を大人になった脳で総復習することにより新たな発見を促す。受講するだけでリスニング力をアップさせ、これまでの不明点を全て解決させることを目指す。	○		○					○
25Y014	英語 II	前期に続き、高校までの英文法を総復習し、なりたい自分に「英語が使える」という付加価値を自信を持ってエントリーシートに記入できるレベルに引き上げる。	○		○					○
25Y015	ボイストレーニング(うた表現)	保育士として必要な発声法、呼吸法など基礎訓練を身に付け、うた表現を学ぶ。			○	○				○
25Y101	子どもと健康	本講義は、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付けることをねらいとしている。			○			○		○
25Y102	子どもと人間関係	子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえながら、子どもの人との関わりの育ちについて学ぶ。			○					
25Y103	子どもと環境	領域「環境」の指導に関連する、乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。			○			○		
25Y104	子どもと言葉	幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、様々な周囲の環境に関わりを深めていく上で必要な専門的事項を身に付ける。			○			○		
25Y105	子どもと音楽表現	幼児の音楽に関する活動やその発達及びそれを促す要因を理解し、幼児の表現力を高め、感性や創造性を養うための知識や技能を身につける。また、領域「表現」の示す内容やそれに基づく指導に関する理解を深める。			○					○
25Y106	子どもと造形表現(基礎)	幼児の造形表現の理解と保育内容の研究			○	○				
25Y107	子どもと造形表現(応用)	幼児の造形表現の理解と保育内容の研究			○	○				
25Y108	保育と音楽表現A	幼児教育に必要な音楽の基礎技能である、歌唱とピアノ演奏の知識と技能を習得する。			○	○				○
25Y109	保育と音楽表現B	幼児教育に必要な音楽の基礎技能である、歌唱とピアノ演奏の知識と技能を習得する。			○	○				○
25Y110	子どもの歌と伴奏法A	幼児教育に用いられる子どもの歌についての理解を深め、その表現に必要な音楽の基礎技能である歌唱とピアノ演奏の技能の向上を図る。			○	○				○
25Y111	子どもの歌と伴奏法B	幼児教育に用いられる子どもの歌についての理解を深め、その表現に必要な音楽の基礎技能である歌唱とピアノ演奏の技能の向上を図る。			○	○				○
25Y201	保育内容総論	乳幼児期の教育は、園生活全体を通して総合的になされるという考え方を理解し、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら、環境を構成し実践するために必要な知識を身に付ける。			○			○		
25Y202	領域「健康」の指導法 I	本演習は、領域「健康」の専門的知識および理論を踏まえて、領域「健康」が指導できるようにすることを目指している。			○	○		○		
25Y203	領域「健康」の指導法 II	領域「健康」の指導法を理解する			○	○				○
25Y204	領域「人間関係」の指導法 I	子どもを取り巻く環境や子どもの発達をふまえて領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、保育における子どもの人との関わりの育ちとそれを支える保育者の援助のあり方について学ぶ。			○					○
25Y205	領域「人間関係」の指導法 II	領域「人間関係」のねらい及び内容の理解をふまえた保育を構想する方法を身に付ける。			○	○				○
25Y206	領域「環境」の指導法 I	領域「環境」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する方法を身に付ける。	○		○					

令和7年度入学生 幼児教育学科コース カリキュラムマップ

カリキュラムマップ										
科目コード	科目名	科目の主題	観点							
			尽心		知識・技能		思考・判断		表現	
			① 学習意欲	② 規律性	③ 知識	④ 技能	⑤ 情報活用能力	⑥ 課題解決力	⑦ 言語活用能力	⑧ コミュニケーション力
										⑨ 主体性
										⑩ 協働性
25Y207	領域「環境」の指導法Ⅱ	領域「環境」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想・実践する方法を身に付ける。			○	○	○			
25Y208	領域「言葉」の指導法Ⅰ	子どもの言葉の獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。				○				○
25Y209	領域「言葉」の指導法Ⅱ	子どもの言葉の獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。				○				○
25Y210	領域「表現」の指導法Ⅰ	領域「表現」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する力を身に付ける。	○		○	○				
25Y211	領域「表現」の指導法Ⅱ	領域「表現」の指導法Ⅰを踏まえ、保育を構想する力を身に付ける。 児童文化について学び、基礎技能を身に付ける。			○	○				○
25Y212	運動遊びの実践	本科目は、自らの運動遊びの実践をもとに幼児期に望ましい運動遊びの指導法を考えることを目標としている。本科目では、①運動遊びを実践できる、②運動遊びを考えられる、③運動遊びの指導方法が分かる、ことをねらいにしている。			○	○				○
25Y213	子どもの絵と製作Ⅰ	幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための適切な援助や指導ができる能力の涵養と保育内容の研究			○	○				○
25Y214	子どもの絵と製作Ⅱ	幼児の豊かな感性や表現意欲を育むための適切な援助や指導ができる能力の涵養と保育内容の研究			○	○				○
25Y215	造形原理	幼児の造形表現に活用する色と形の基礎的知識について理解を深め、保育場面に活用できる課題を制作することができる。 提出課題等をポートフォリオとしてまとめることができる。			○	○				○
25Y216	カリキュラム論Ⅰ	保育計画の種類や作成方法、評価の考え方を理解し、保育の過程について学ぶ。	○		○					
25Y217	カリキュラム論Ⅱ	保育指導案の作成について学び、保育の基本を踏まえ発達段階に応じた保育指導案の作成方法を修得する。	○		○	○	○			
25Y301	保育原理	保育の意義や内容、思想、歴史、制度などの基礎知識を学び、保育の現状を考察する。			○				○	
25Y302	教育原理(教育史を含む)	教育がどのような営みなのか。歴史的、思想的な理解を土台とし、現代の学校教育に関する社会的・制度的理解を深め、学校教育が抱える課題について考察する。			○			○		
25Y303	子ども家庭福祉	・社会福祉の一分野である「子ども家庭福祉」の理念および歴史的な展開過程について理解する。 ・子どもを取り巻く現代社会と子育て家庭の状況について理解する。 ・子どもの人権擁護と児童の権利に関する条約について理解する。			○				○	
25Y304	社会福祉	児童福祉の専門職として、社会福祉の理念や法制度、相談援助技術の考え方を学び、福祉の基本的な知識・姿勢を修得する。			○			○	○	
25Y305	発達心理学Ⅰ	保育者・教育者として子どもに関わる際に必要な人間の発達に関する基礎的事項について学ぶ。 胎児期・乳児期・幼児期の発達の特徴を理解し、保育・教育実践との関わりについて考える。			○					
25Y306	発達心理学Ⅱ	保育者・教育者として子どもに関わる際に必要な人間の発達に関する基礎的事項について学ぶ。 学童期・青年期・壮年期・老年期の発達の特徴を理解し、生涯発達の視点から保育・教育実践との関わりについて考える。また、発達にみられる「障害」に関する基礎的事項についても学ぶ。			○					
25Y307	子どもの保健	乳幼児の特性を理解し、ガイドラインを踏まえた保育の在り方を学ぶ。						○	○	
25Y308	子どもの食と栄養	栄養に関する基礎知識、子ども発育・発達と食生活との関連を理解し、その現状と課題を学ぶ。 食育や配慮を要する子ども・保護者への対応を学び、実践力を身につける。			○		○	○		○
25Y309	乳児保育Ⅰ	乳児(0～2歳児)保育の意義を理解し、課題を考察する。保育の歴史、3歳未満児の子どもとの成長と発達、保育内容、保育方法について学ぶ。			○				○	
25Y310	乳児保育Ⅱ	0～2歳児の心身の発達過程や特性を確認し、保育者の援助や関わりの実践について学ぶ。						○	○	
25Y311	子どもの健康と安全	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助方法、子どもとのかかわりについて学ぶ。			○					○
25Y312	保育とICT活用	保育に活用するICT機器に関する基礎的知識・技能について理解を深め、必要に応じてICT機器を利用できる。 提出課題等をポートフォリオとしてまとめることができる。			○	○				○
25Y313	保育方法論	保育の基本及び幼児教育に基づいた保育の方法について学習する。			○					
25Y401	子ども家庭支援論	・子育て家庭に対する保育士の行う相談等の支援の意義や保育士の役割について理解し、子ども家庭支援の基本について説明することができる。 ・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と、子ども家庭支援の現状、課題について関連付けて説明することができる。			○				○	○
25Y402	社会的養護Ⅰ	社会的養護と呼ばれるサービスについての概要を理解する。また社会的養護の対象となる子どもの処遇について、支援の理論や方法に関する基礎的理解を深める。			○			○	○	
25Y403	社会的養護Ⅱ	社会的養護サービスにおける処遇の実践的内容を理解し、保育士としての基本的知識・姿勢を身につける。			○			○	○	○
25Y404	保育者論	高度化・多様化する現代の教職を踏まえ、保育者の役割・職務内容への理解を深め、保育者に求められる資質・能力とはどのようなものかを考察する。			○			○		
25Y405	教育相談(幼児のカウンセリング理論を含む)	保育・教育の場において子どもや保護者を支援するために必要な基礎的知識ならびにカウンセリングマインドについて学ぶ。			○					
25Y406	子どもの理解と援助	保育・教育の基本である子ども理解の意義や重要性について理解し、乳幼児の発達にあわせながら育ちを支える保育者の基本的姿勢・具体的方法と援助について学ぶ。			○					○

カリキュラムマップ												
科目 コード	科目名	科目の主題	観点									
			尽心		創造				実践			
			態度・思考	知識・技能	思考・判断	表現	行動・応用					
			① 学 習 意 欲	② 規 律 性	③ 知 識	④ 技 能	⑤ 情 報 活 用 能 力	⑥ 課 題 解 決 力	⑦ 言 語 活 用 能 力	⑧ シ ョ ウ コ ン ミ ュ ニ ケー	⑨ 主 体 性	⑩ 協 働 性
25Y407	特別な教育的ニーズの理解とその支援Ⅰ	様々な教育・保育的ニーズのある子どもが生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上または生活上の困難を理解し、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。			○			○	○			
25Y408	特別な教育的ニーズの理解とその支援Ⅱ	様々な教育・保育的ニーズのある子どもが生きる力を身に付けていくことができるよう、学習上または生活上の困難を理解し、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。			○			○	○			
25Y409	子育て支援	保育における子育て家庭への支援の意義、及びその内容と方法を演習を通して理解する。						○	○			
25Y501	保育実習指導Ⅰ	保育実習の意義・目的・内容・姿勢を理解し、実習計画、実践、記録、評価の方法や内容について学習する。また実習における自己課題を明確にし、実習後の自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする			○							○
25Y502	保育実習Ⅰ	学内で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。			○	○						
25Y503	保育実習指導Ⅱ	保育実習の意義・目的・内容・姿勢を理解し、実習計画、実践、記録、評価の方法や内容について、保育実習Ⅰの内容を踏まえて学習する。また実習における自己課題を明確にし、実習後の自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。			○							○
25Y504	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰをふまえ、子どもの観察や関わりの視点を明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。保育所における子どもの保育および子育て支援について総合的に学び、保育士としての自己の課題を明確にする。			○	○						
25Y505	保育実習指導Ⅲ	保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設(保育所以外)における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。			○							○
25Y506	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設(保育所以外)における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。			○	○						
25Y507	教育実習	大学で修得した内容をふまえ、幼稚園の役割や機能を観察や子どもとの関わりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、評価を経験し、教諭の業務内容や職業倫理、保護者支援について総合的に学ぶ。	○	○		○						
25Y508	保育・教職実践演習	保育に関する知識や技能のさらなる修得と向上を目指して、保育現場での実習を振り返り、自分の課題を明確にする。			○	○						
25Y601	ゼミナールⅠ	自らの研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習を行う。その中で直面する様々な問題に適切に対応し、自ら解決できる能力や態度を身につける。						○				○
25Y602	ゼミナールⅡ	自らの研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習を行う。その中で直面する様々な問題に適切に対応し、自ら解決できる能力や態度を身につける。						○				○